

## 第1回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事要録

1 日時 平成26年7月28日(月) 18時30分から20時05分

2 場所 北広島市役所本庁舎2階会議室

### 3 出席状況

| NO | 氏名        | 職業等                   | 出欠 |
|----|-----------|-----------------------|----|
| 1  | 上原康雄      | 北広島市観光協会会長、北広島商工会会長   | 出  |
| 2  | 山崎悦子      | 北広島商工会会員(行政書士山崎法務事務所) | 出  |
| 3  | 千葉隆一      | 札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース支配人      | 出  |
| 4  | 石塚正敏      | 札幌北広島クラッセホテル支配人       | 出  |
| 5  | (副座長)川口満久 | ホクレン農業協同組合連合会北広島事務所所長 | 出  |
| 6  | 中村哲       | 三井アウトレットパーク札幌北広島所長    | 出  |
| 7  | (座長)吉岡宏高  | 札幌国際大学観光学部国際観光学科教授    | 出  |
| 8  | 三浦麻衣      | 市民(会社員)               | 出  |
| 9  | 善甫啓太      | 市民(会社員)               | 出  |
| 10 | 吉田智樹      | 北広島市経済部商業労働課課長        | 出  |

きたひろしま都市型観光推進協議会事務局

| 所属       | 役職 | 氏名   |
|----------|----|------|
| 経済部商業労働課 | 主査 | 山田基  |
|          | 主事 | 清水愛里 |

傍聴者

| 人数 |
|----|
| 1人 |

## 4 議事録

### 1. 開会

○事務局

10名の構成員の皆様が全員出席しております。委員の過半数であり会議成立となっている。

## 2. あいさつ

### ○上野市長

皆さん、こんばんは。市長の上野正三でございます。皆様方には、日頃より市政の推進にあたり、多大なるご協力とご支援をいただき、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。また、この度は「きたひろしま 都市型観光推進協議会」にご参加いただき 誠にありがとうございます。さて、本市は本年、観光を通じて人々との交流を促進するとともに、観光まちづくりを推進するため、観光基本計画を策定したところです。近年は、大曲に大型商業施設が次々に建設され、年間1,000万人を超える方が訪れ、加えて、観光客の価値観や旅行ニーズの変化、アジア圏を中心とした観光客の増加など、観光を取り巻く環境は目まぐるしく変化しております。このような状況の中、本市には、豊かな自然環境、利便性の高い交通アクセス、充実した生活環境など、優れた個性と歴史的な財産や地域資源も豊富に存在することから、これらの多様な資源を有効に活用し、互いに連携し合い、観光施策を進める必要があると考えております。この優れた資源の個性を活かしつつ、観光を中心とした交流人口の増加に向けた「まちづくり」を推進するためには、観光事業者や商業事業者、市民の方の協力がなければ、実現は難しいものと考えております。

皆様におかれましては、市内の関連団体との「連携」や、協働による「新たな取り組み」が生まれるとともに、人々の交流が促進されることで、本市の賑わいと魅力ある、まちづくりが展開されることをご期待申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 3. 協議会構成員の紹介・事務局の紹介

(事務局から構成員等の紹介)

## 4. 座長及び副座長の選出

### ○事務局

要綱第3条に基づき、座長及び副座長を構成員の中から選任する。

事務局案の承認により札幌国際大学の吉岡委員を座長とする。

座長からの指名によって副座長はホクレン農業協同組合連合会北広島事務所の川口委員となる。

## 5. 座長挨拶

### ○座長

改めまして座長に選任されましたので、ご挨拶申し上げたいと思います。私は、北広島在住ではございませんので立場としては、皆さん方からの意見をいろいろ汲み取ってうまく盛り付け、思いを形

にしていくことをお手伝いする立場だと思えます。先ほど、委員の皆さんから、私のやっていることは観光になるのかなというご謙遜まじりでお話があったかと思いますが、観光というのは、非常に捉え方は様々で幅の広いものですので、今日ご出席の皆さん方は本当に見方を変えればすべて観光に関わる方々ばかりではないのかなと思えます。逆に、その分ですね、焦点が捉えにくいというところがあります。特にこの北広島の場合は札幌に近いし、千歳への通過点にあたるし、人数をたくさん集める性質の施設もあれば、島松駅通所みたいなですね、深く知らないと中々その背景が理解できないもので、多様なもので構成されている。そういったものをいくつかしっかりと柱を立てていくように、一緒にやっていくということになるのかなと思えます。いま、今日は初回でこのように厳かな状況ですが、次回以降はできるだけ、ラフな形でお話ができるように座長権限でお願いしようと思えます。限られた回数の中で、皆さん方と意見を形にしていきたいというふうに思っておりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

○事務局

ありがとうございます。それでは、これ以降は吉岡座長の方に進行いただきたいと思えますが、申し訳ございませんが、市長の公務のため、ここで退席させていただきます。

## 6. 議事

以降の議事は座長による進行となる。

### (1) 議案1 協議会の運営について

○事務局

資料に基づき事務局から説明。

事務局案が承認されるが、委員から発言しやすい場の提供について要望があった。

### (2) 議案2 協議会で実施することについて

○事務局

資料に基づき事務局から説明。

事務局案が承認される。

### (3) 議案3 協議会の公開等について

資料に基づき事務局から説明。

事務局案が承認される。

## 7. 北広島市の概要の説明

### (1) 北広島市の観光資源について

#### ○事務局

資料に基づき事務局から説明。

## 8. 意見交換

#### ○座長

今説明あった中身について、もう少し聞かせて欲しいとか、そういった点がありましたらお願いいたします。

#### ○委員からの意見

- 北広島市は国土交通省の自転車利用環境整備モデル都市に選定された経過がある。北海道では北広島だけ。北広島はエルフィンロードだけではなく、北広島団地内に歩道と自転車道路を色で分けたトリムコースという施設があり、全国的にも恵まれた環境ということで取り上げられていた。しかし、今は全く使われていない。或いは当時舗装したままになっている。
- 地区が分散し文化圏が分かれているが、それを結ぶ交通が弱い。札幌に近い新千歳空港に近いという立地条件では恵まれているが、市内のそれぞれの場所を繋ぐものが弱い。それが自転車なのか、或いはワンコイン100円といった小さなバスみたいのが必要ではないか。これから高齢化が進む中で、そういったものが重宝するのではないかと感じている。
- 高知県は四万十川や仁淀川などの清流で知られている。そこに子どもの情操教育という点に目をつけて、東京の有名私立小学校や林間学校が活用している。北広島にもそういったところと共通するポイントがあるのではないか。くるるの杜の農業体験で土に触れる、また、冬場の雪をうまく活用して自然に触れることで、子どもの情操教育に効果があるのではないか。
- 自然豊かな北海道で子どもを育てるのは良いことと思い、北海道に住むことを決意した。道外から小さな子どもがいる方を誘致すれば、私の様にここに住みたい、子どもを育てたいと考える家庭も増えてくると思う。そうすれば、20年後に高齢化率が40パーセントなんて言う前に、現状維持、或いは改善していくことも可能ではないかと。それが観光に繋がっていく可能性もあると思う。
- 訪れる観光客も大事であるが、それよりも子育て世代を中心に住みやすいまちを目指してはどうかと思う。地元の人たちが楽しんでいるまちにすると訪れた人も居心地が良いまちになると思う。
- 北広島は折角落ち着いた勉強できる環境がある。質の高い教育を受けるためにも学校は減らさないでほしい。
- 小さくても子育て世代に魅力的な公園がたくさんあれば観光資源にもなるのではないか。クオリティの高い公園は子育てを楽しくさせ、大人たちの社交場にもなる。今、市内では古い公園の遊具など、地域住民の方から意見を聞いて建て替えが進められているが、維持にお金のかからない

石の柵になったり、なるべく危険な状況を避けるためブランコは無いとか、だんだんつまらないものになってきている。市がリードし良いものを造っていただきたい。例えばヨーロッパではプレグナンシー・ヒルといった妊婦さんの丘というものがある。そのような公園が点在していれば公園巡りの旅なんかも面白いと思う。

- 観光客の方に話を聞くと、やはり北海道ということである。北広島市について、自然や観光資源、雪遊びなどをセットにし、魅力発信してほしいという声が多い。
- 東南アジア、台湾、それから中国からの観光客が急激に増えてきた。中国の方は日本に買い物をしにやってくる方が多いが、何故北海道かと聞くと、買い物だけに来る方はほとんどいなく、自然を感じたいと考えているようである。今一番ハイシーズンで訪れたい、見たい場所は、富良野のラベンダーという方が非常に多い。
- 北広島市の自然の魅力や農業体験とショッピングをセットにするなど、PRの材料として使えばより地域の魅力になると思う。
- 買い物もでき、自然も豊かということで、人口も増えていくことに繋がっていくと思う。
- 30代から40代半ばの若い世代、お子さんが増え、自分で戸建てを持ちたい方が大曲に増えてきたと感じる。自然があり、買い物に便利であると思って住んでいると思う。
- 北広島について自分が知らない場所が多いことを感じた。交通の便など、観光地と観光地を結ぶ何かがあると、1日いても楽しめると思う。
- レストランの待ち時間が1時間、1時間半程度ある時に、別の商業施設や飲食店が紹介できれば、PRに繋がる。
- 観光客がおいしいラーメン屋さん連れて行ってとタクシーに依頼したら、札幌に連れて行かれたようである。我々は施設にお客入れようとして取り組んでいるが、観光客に対する地元の受け入れ意識が弱いと思う。
- 観光客をどこかに連れて行きたいが思い当たらない。また、施設間の連携も出来ていない。それぞれの施設でバスを運行したりはしているが、線だけ結ぶけど、面にはなっていない。市民を巻き込んで、面としてとらえるような取り組みが必要と思う。
- 東南アジアの観光客が来た場合、話の内容が理解できないと考える方もいる。遠くからは見ているけど、こちらには来て欲しくないと思っているのでは。
- 北広島に記念写真を撮る場所がない。桜の木はあちこちに色々な団体が植えているが連携も取れていない。レクの森を有効活用して、大人や子どもが遊べる遊園地や公園、桜の名所があっても良いと思う。
- 食事する場所が無いと言われ、対応に困る時がある。名物やお土産を増やしていくことが必要。
- 引っ越しで隣家に挨拶した際、はじめに「ようこそいらっしゃいました」と言われた。それがとても嬉しく、今まで何度か引っ越しをしたが、そのようなことはない。北広島に来て良かったと思った。
- 地元の方とお話すると北広島には何もないと言う。どうして来たの？と言う方もいた。
- 魅力ベスト30は余りにも多すぎ。色々あるけど、どれも何処でもあるように思う。北広島と言えばこんなまちといったイメージを持てるようになれば良いと思う。
- 観光協会の独立が必要と思う。観光協会の事務局は市が行っているが、皆さんからお聞きしたこ

とを実現するためには、独立の方向に持っていった方が良いと思う。

- 簡易なステージなどで若者達が勝手に音楽活動を行えるようなスペースがあれば良いと思う。
- 市民がまちを知り、一人ひとりがセールスマンになっていくことによって、まちを売り込んでいけると思う。
- 行ってみたいまち、ここに住んでみたいまちにしたいと思う。観光といっても、実はまちづくりの議論になっていき、最終的には人づくりになっていくというような部分もあると思う。

#### ○座長

観光の捉え方として、人を沢山呼び、楽しんでもらわなければ観光じゃないということではない。観光には“目的としての観光”と“手段としての観光”の二つがある。“目的としての観光”は多くの方が来てお金を使ってもらう。これが俗に言う観光のイメージ。これを市民から見ると「私には関係無い」、「私は業者じゃないから」ということになる。ただし、まちに植えられた桜や北広島のグルメとして売り出しているコロッケだって、その人たちが支えている。そうなると、違った捉え方が必要で“手段としての観光”が必要なのです。良いまちを作るために、地元では中々気付かないことが、市外の方から教えていただくとか、或いは、仲間とか応援団を作ったら、ひょっとして色々なことが後でまちのためになってくれるといったこともあります。北広島団地が高齢化し、公園なども多くあるが、どうもつまんないものに改修されているといった件。公園などは高度経済成長期の助言者で、それをどのようにPRしていくか、日本全体のテーマではないかと思えます。かつての暮らしということで分かるし、その公園も地域の人たちの手で、役所にお任せしないで自分たちの手で公園を設置していく。例えば、そこに大学生や先生が参加する。そしてその学生の1人がいつかは教師になるかもしれない。そうしたら今度は、学生をまた連れてきてくれるかもしれない。その様な“わらしべ長者的”なものです。実はこれを資源と言うこともできます。色眼鏡を付けず、観光だから美味しいもの、観光だから美しい景色とかではなく、中山久蔵や住宅団地にしたって色々なテーマがあると思えます。

お話を聞きしていると互いにちょっと関わりが余りもててない。大きい施設のパスワークは出来つつありますが、それが小さいところまで届いていない。確かに大きい施設が小さいところまで案内できる余力も無いでしょう。しかし、お客さんは多様になってきています。例えば、「私は美味しいベーコンが食べたい」と言ったら、多分、アウトレットさんではないのかもしれない。エーデルワイスとか、そういったレベルまで落とし込んでいかなければならない。その時に是非注意していただきたいことが、北広島市内だけで纏めようとしなないということ。北広島と札幌の境目なんて分からないのです。逆に言えば、北広島は人のふんどしも使いつつ、南幌のジンギスカン、恵庭ではこれといったものを活用し、そういったエリアに余り拘り過ぎないということが大事。交通の要衝ですから、やはり周りとかっ付きやすい。生かすということも一つのヒントになるかなと思います。カクテルで例えると、市内だけで作ろうとすると、悪酔いするものになる。北広島をベースにして美味しいカクテルを幾つか合わせる。

交通の要衝である北広島。必ず北広島を通っていくが、その間が上手く活用されていない。中標津空港の便に乗ると、着陸する直前の左山側に“牛”という字が書かれている。何だろと思い、気になって見に行きたくなる。

最後に、観光のこれからとしては来てもらわなきゃ話にならない。実は輪厚でゴルフに来たが、来てみたらゴルフもするけど、違ったところの面白さが見えてきて、気が付いたらゴルフしに来たのか、何しに来たのか分からない、そのような感じになってくれたら次に繋がっていく。そこの仕組みが今問われている。是非せつかくこのように頑張っておられる施設だとかがいらっしゃいますので、1たす1を3になる方法とか、この中で1つでも2でも出てきたらと私は考えています。

## 9. その他（次回開催日について など）

次回の開催は10月14日火曜日、18時30分として決定する。

（終了）20時05分